

〔国際会議発表〕

発表研究者	筑波大学 システム情報工学研究群 博士後期課程 礪本 俊弥	2232001
参加会議	The 2023 ACM Symposium of Eye Tracking Research & Applications (ETRA 2023)	
開催場所	チュービンゲン・ドイツ	
出張期間	2023 年 5 月 29 日～6 月 4 日	
発表論文	Exploring Dwell-time from Human Cognitive Processes for Dwell Selection 凝視選択のための人間の認知プロセスに基づく凝視時間の探索	

概要：

国際会議 The 2023 ACM Symposium of Eye Tracking Research & Applications (ETRA 2023) は、HCI・CG 分野の中でも特に視線認識技術およびそのアプリケーションの研究に焦点を当てた学会（Association for Computing Machinery の中でも SIGCHI と SIGGRAPH の共催）であり、視線認識を対象とした学会においては最も権威のある学会です。2022 年から本学会に採択された論文は、ACM の論文誌 Proceedings of the ACM on Human-Computer Interaction (PACM HCI) もしくは Computer Graphics and Interactive Techniques (PACM CGIT) のどちらかに採録されることが決定しており、私の研究は PACM HCI として ACM デジタルライブラリ上にて出版された。この学会で研究発表をすることの目的には、多くの研究者と研究の話をすることはもちろん、博士号取得を控えている私にとってはポジションやキャリアの話をすることもありました。

発表自体は多くの研究者から注目され（私は緊張していてあまり周りが見えなかったのですが、後から多くの人がスライドの写真を撮っていたと聞きました）、発表後も多くの議論をすることができました。また、私は視線認識を用いた入力インタフェースの研究をしているのですが、視線認識技術を研究している研究者（普段交流が薄い研究分野の研究者）とも議論ができ、議論を通じてさらなる研究の発展を考えることもできました。また、海外ポスドクにも興味があったため、その話も多くの研究者とも話すことができ、とても有意義な学会となりました。